

おんじゅく

The Onjuku Koho

73-2

昭和48年

第115号

千葉県御宿町役場発行



漁のあと始末も終り、ようやく朝食にありつける。労働のあとは格別めしがうまい。



防火意識の高揚を

アンケートから

家庭における防火管理の状況、

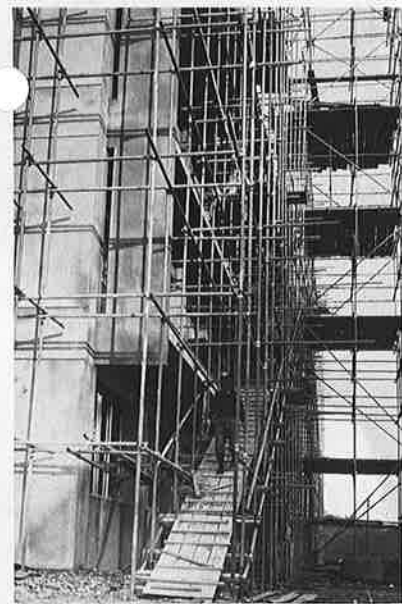
事務所、事業所等の防火管理に対する意見、防火意識の普及と高揚のための子どもときからの基礎教育の必要性に対する意見および消防に対する期待や将来の消防のあり方についての意見を求め（国政モニターに対し）その結果をとりまとめたものです。

（問1） 家庭における防火管理

- 1 日常火の元の点検を行なうにあたって、特に注意している点があれば、どのような点かをきいてみたところ、ガスをあげた者が六五%で最も多く、ついで、たばこの吸いながら、ふろの火の始末、電気の使用をあげた者が続いています。
- (1) ガスの点検 六五%
 - (2) たばこの吸いながら 二〇%
 - (3) ふろの火の始末 八%

- (4) 電気の使用 一七%
 - (5) 石油ストーブ等暖房器具 一%
 - (6) 引火物の置き場所 六%
 - (7) 子どものいたずら 四%
 - (8) 消火設備の点検 三%
 - (9) その他 六%
- 2 就寝前の火の元を点検する責任者を決めているか、決めているとしたら、だれがその役割を果たしているかきいてみたところ、責任者を決めていると答えた者が八四%で、そのうち日常台所で火気を使用している主婦を責任者としているという者が一八一名で最も多い。
- (1) 決めている 八四%
 - ① 主婦 五七%
 - ② 最後に寝る者 一四%
 - ③ 主人 一一%
 - ④ 夫婦 八%
 - ⑤ 家族全員 七%
 - ⑥ その他 三%
 - (2) 決めていない 一六%

- 3 火災が発生した場合に備えて、火災通報のしかたや消火方法、避難方法などについて話し合いをしたことがあるか、あるとしたらどのような内容をきいてみたところ、話し合いの内容としては「通報を心がける」という者（一〇四名）と「避難方法」をあげた者（一〇二名）が多い。
- (1) 話し合ったことあり六五%
〔内容〕
 - ① 通報を心がける 四二%
 - ② 避難方法 四一%
 - ③ 消火器の使用法、設置場所の確認 三一%
 - ④ 近所へ火災発生を知らせる 一四%
 - ⑤ 火災発生初期の自力消火 一三%
 - ⑥ 重要書類の持出し一一%
 - ⑦ 生命第一に、身一つで避難する 七%
 - ⑧ 火災発生後の家族の役割分担 四%
 - ⑨ その他 五%



防火建築の高層の建物(ホテル)

- (2) 話し合ったことなし六五% (問3) 子どもときからの基礎教育の必要性について
- 防火意識の普及と高揚のための子どもときからの基礎教育の必要性についてきいてみたところ「防火意識の高揚に子どもへの基礎教育は必要である」とする者が八三%を占めています。また、教育方法について意見を述べた者が九四%で、このうち「学校の中で」という者が一九五名で最も多い。
- ついで、基礎教育の内容について意見を述べた者は三六%で、このうち「火の恐ろしさを教える」とする者が七七名で最も多い。さらに「基礎教育以前の問題である」とする者が一七%となってい

ます。

1 基礎教育は必要八三%

(1)基礎教育の方法 九四%

①学校教育の場で 六七%

②家庭教育として 三一%

③社会教育の一環として 二七%

(2)基礎教育の内容 三六%

①火の恐ろしさを教える 六九%

②公聴心を養う 二六%

③科学的知識を与える五%

2 基礎教育以前の問題 一七%

①おとなの意識の高揚が先決 六五%

②社会環境の整備 二四%

③国民全体へのPR 一一%

(問4) 消防になにを期待するか、また将来の消防はどうあるべきかについて意見を求めたところ、消防活動の近代化や消防士等の待遇改善など消防体制の強化充実について述べた者が九四%で最も多く、ついで、防災意識の高揚のための施策や建築物の研究と対策など予防施策の推進を述べた者が五一%と

なっています。

(1)消防体制の強化充実九四%

①消防活動の近代化二九%

②消防士等に対する待遇改善 一六%

③農山村地域における消防体制の確立 九%

④自治消防の確立 九%

⑤防災対策予算の大幅増額 九%

⑥その他 一二%

⑦その他 一二%

⑧その他 一二%

(2)予防対策の推進 五一%

①防災意識の高揚 三六%

②建築物の研究と対策 一六%

③行政指導の強化 一六%

④環境の改善 一〇%

⑤法の整備と規制の強化 五%

⑥ガス・煙対策の強化五%

⑦その他 一二%

⑧その他 一二%

火災による死者千六百名超す

昨年の全国火災状況から

火災シーズンを迎え、火の元には十分気をつけましょう。

昨年一年間で発生した出火件数は、全国で五万七千六百一件、前年に比べて六千四百八十八件、十パーセント減少しました。

火災の種類別でみると、建物火災、三万八千六百八件、林野火災四千二百九十八件、車両火災三千七百四十二件、船舶火災三百一十一件、航空機火災八件、その他の火災一万六千三百四十四件となっており、前年に比べて建物火災は九百四十一件、二・四パーセント、林野火災は二千八百三十三件、三十九・五パーセント減少しました。

死傷一万一千余名に

死者数千六百六十三人、負傷者数九千六百一十一人といずれも前年を上回りました。死者については戦後最高を記録した昭和四十五年の千五百九十五人を六十八人も上

回る記録となりました。これは、大阪市の千日アパート火災(死者百十八人)、北陸トンネル内の列車火災(死者三十人)によって多くの死者が生じたことがおもな原因です。

負傷者については、前年(九千二百八十八人)を上回ったものの、昭和四十五年の九千七百二十五人をわずかながら下回っています。これにも北陸トンネル内の火災によって負傷者(七百七十四人)が生じたことがおもな原因です。

損害額ふくらむ

建物焼損面積二百四十二万七千五百平方メートル、林野焼損面積四十四万六千二百九十五アル、焼損むね数五万一千二百六十四むね、り災世帯数四万六百三十四世帯となり、前年(昭和四十六年)と比べて建物焼損面積八万六千五百二十八平方メートル、三・四パーセント、林野焼損面積八十九万七千五百四十四アル、六十六・六パーセント、焼損むね数二千五百四十六むね、四・七パーセント、り災世帯数二千二百世帯、四・七パーセントといずれも減少しました。

しかしながら、損害額については、八百十八億九千八百万円となり前年(七百八十五億七千万円)

に比べて三十三億二千八百万円、四・二パーセントふえました。

出火件数等が減少したにもかかわらず損害額が増加した理由についてはさまざま考えられるが、火災における損害額が多くなっている事実、一度におおぜいの人

が犠牲になったり、おとしよりや子どもの事故がふえている事実注目しなければならぬでしょう。

なお、昨年中の当町における火災発生件数は、住家一、附属家一焼失面積は三百十平方メートルとなっています。



公共施設も火事に強い様に防火建築にしています(御宿小の体育館)

長生きしなっきや!!

老身に生きがいと希望を

●ホームヘルパー日記より

長生きしなさいとお年寄をはげますヘルパー。



家庭奉仕員が、一人ぐらしのおとしよりや寝たきり老人を訪問しだしてから二年になります。ヘルパーが手を取り、肩を貸し、てやり、話し相手となつて、めんどうをみてきたおとしよりのようすを日記につづつた、おとしよりの生活の記録を発表します。

髪の手入れにも細かい心づかいを



掃除・洗たく・話し相手

9月1日 TさんYさんの家の中のそうじ。世の中のいろいろなお話に喜ぶ。新聞を読んであげる洗たく物二枚、Oさんとの話し合い、いろいろなぐちを話される。

将来の話、現在のお話、はかりきれないことのみ、Tさんの家のまわりを掃く。家を明るくしよう、明るくしようといつまでも話し合う家の中はくさい。Oさんといろいろな話をする喜ぶ。

9月7日 Tさんぐあい悪く、寝

9月16日 台風に備えて保護家庭

てる。血圧が高いらしい。Yさん国民年金の印かんを紛失のため年金をもらえず、役場に紛失届をし、局より年金をもらつてきてあげる、大喜びだった。Oさん、からだのぐあい悪くお医者さんについてきたところ腰が立たないと話される。

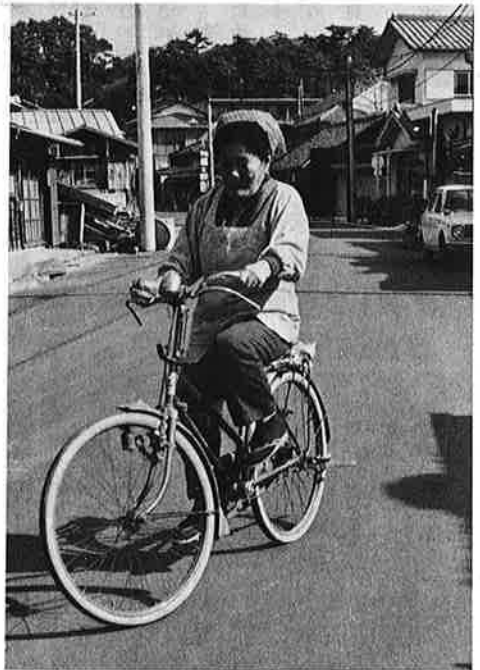
のみんなの電池の入替えをして歩く。Kさんの買出し、TさんもYさんもねてる、Yさんの洗たく物持つてくる。

9月11日 Kさん、きょうはねて

9月26日 Fさん元気だった。一

いる。そばでしばらく話し合

人で医院に行く。Kさんと元気に話し合う。Tさんの家を開放して臭気をだす。Oさん腰の痛みを訴える。



お年寄を次々と自転車で訪問

飲食店で外食する

10月3日 午前Fさんのおとんほし、洗たく、そうじ、使いに終る。Iさんも話を始めればいろいろな話にはずむ、喜んでくれる。Oさんの腰の痛み、一人の淋しさも話す。年寄りにはよい制度になりましたと喜ぶ。またきますと別れる。

10月13日 Iさん生家に行っているが訪ねた。一日増しにからだがかきかなくなるといふ。半身不随Oさん相変わらず。Tさんお金を紛失したというので占って見てあげる。Hさん訪ねて見た、一人で

米を洗っていた、ちよつと手伝う。

10月20日 雨なので年老いた人々は淋しいだろうと思う。Fさんねていた。風呂をそうじしてあげる。すい手手伝う。KさんもTさんもねている。だれにもない、狐独の淋しさをつくづく語る。

10月25日 Kさん頭痛で元気なし 一時間程相手になり、炊事を手伝う。Yさん、きょうはぶらぶらしている。近所の人が相手にしてくれないとぐちをいう。Tさん着物を買いたいという。新町までつ

れていく、かえりに外食したいというので飲食店に入れてかえる。

10月26日 六軒町のKさんを訪問

近所の温かみがほしい

11月4日 Kさんの洗たく物、そうじ。相手ほしそうにいつまでもいつまでもいてくれと喜んでいふ。かわいそうだが仕事終りしだいな久保にくる。

11月20日 雨そうなので三十分早く行ってみた、喜ぶ。洗たく、そうじ、使い、いつも大便の洗たくだ。かわいそうな人生だ。Tさんきょうは胸がいたいとねている。食物を買ってきてあげる。

11月29日 Kさん昨夕から食べず

12月1日 Kさんの洗たく、そうじ、民生委員に話し、木炭はけがの原因なので、こたつを替えた

敷布などの汚れた物に驚く。かわいそうな状態だった。全部取り替え洗たく、そうじに二時間余もかかってしまった。

にねてるという。だれとして、話相手もこないので心細いのか、しみりとした表情だ。Tさんねてる、どこか悪いやも分らず、ただねてる枕元に話し合せてあげたが喜ぶだけ。

Kさん木炭を起して、こたつに入り一酸化炭素の中毒を起したのだろう、しばらく元気がないが二時間くらいで気がつく。



日課の日記を書くヘルパー

だ福祉国家です。そつとして、生きていけるではありませんかと話せばいくらか安心してはいる。

12月5日 Kさんの縫物、手紙書く 洗たく物十点ほどだ。Oさん看護人のぐち、早く電話でも有線でもほしいと広報を読み喜んでいふ。

12月12日 Kさん一日一日良くなるように思える、からだがいくらか自由にやわらかになり楽になったように思えてうれしい。ふとんを作り変えてあげる、だれもきてくれない相手にしてくれぬと、さめざめと泣く、かわいそうで慰めて話し合っているうちにしばらく冷静になる。

12月19日 Tさんの座敷の上敷を取替えて、そうじ、風呂をたきYさんと二人を入れてあげる。Tさんは、たんのうがいたむというので、そうじをしてあげる。

12月31日 Fさん三日くらい床にあるので、心配で、きょうも見に行く、相変わらず元気なくねている。だいじょうぶでしよう。Kさんのことし最後の洗たく物をしてあげる。喜ぶ。

大丈夫！福祉国家です

おひるのしたくをしてつぎに急ぐ。Kさん、きょうは起きていふ。ゆく末を話される。だいじょうぶ



写真 甘みもふえ、粒ぞろいのみかんを審査する

甘く、大きく育ちました 七回目を迎えたみかん共進会

第七回御宿町みかん共進会

開かれる。

御宿町みかん共進会も回を重ね

て第七回目が去る一月二十四、五

日の両日、町公民館において開か

されました。当町のみかんも植栽

を始めてから九年目を迎え、除々

に生産も増え、糖度も高いものは

十三％近くもあり、神奈川や静岡

の大産地のもの比べても決して

見劣りしないようになりました。

ことしの共進会の出品点数は四

十点でその中からつぎのとおり受

賞者がままりました。

特別賞（四点）

夷隅支庁長賞 吉野嘉夫

夷隅農業改良普及所

大原支所長賞 吉野久恵

御宿町長賞 花見台農園

御宿町農業協同組合長賞 吉田初雄

一等賞（二点）

吉野静子 吉野正治

二等賞（四点）

吉野れつ外三名

三等賞（九点）

佐藤謙一外八名



ステップも軽く ダンス教室ひらく〈公民館〉

ダンスは、若い人の間で、ものすごく愛好され、クリスマスマパーティーなどでは、かかせないものとなってきています。

町の公民館では、若いダンス愛好者と呼ばれ、毎週水、金の両日午後七時から約二時間、ダンス教室をひらき、楽しい社交ダンスの指導をしています。昨年のクリスマスマ前から行なわれ、欠かさず参加している人は、もうすっかりステップも軽く、パートナーをリードしているという。

いまは亡き

井上文吉氏の追憶

現役時代の活躍を再録

故井上氏は、終戦後の混乱時代から二十余年町長として、町発展の数々の事業をなしとげました。

昭和三十年の町村合併、御宿、

岩和田両漁港の改修築、中学校の建築ならびに統合、中学校体育館

町営住宅の建設、町道の舗装ならびに改修などに尽力し、町民福祉の向上に努めた功績は数限りありません。

また、統計関係にあつては、千葉県郡部連合統計研究会長として統計思想の普及、関係職員の高質の向上に努め、県下統計マンの敬服の的となっています。

さらに「町の生きる道は観光にあり」という持論により、観光事業に特に力を入れ、全準急の停車場海水浴場の整備、観光資源の開発等につくし、町をして県下一の海水浴場として広く県内外に紹介しました。

〈氏の略歴〉

○明治二十一年四月三日、御宿町 高山田二〇八四番地に生まる。

○明治三十九年十二月十一日、皇典講究所卒業

○昭和八年四月二十一日、御宿町議會議員当選就任

○昭和二十年十二月十一日、当議會議員退職。この間三期と七月町議として活躍。

○昭和二十年十二月十二日、御宿町長に選任され就任。

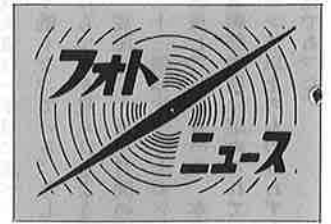
○昭和四十二年五月十四日、町長退職。この間五期と二年、二十二年の長きにわたり、現在の町の基礎づくりをしました。

〈賞罰〉

○昭和二十六年三月三十一日、地方自治功労者として県町村会から表彰

○昭和三十三年四月十六日 地方自治功労者として全国町村会から表彰

○昭和四十年十二月三日 勲五等



双光旭日章を叙勲
○昭和四十八年二月 日 正六
位に叙位



町政を後輩にバトンタッチ、惜しめない拍手のうち庁舎を去る。



持ち前のユーモアで美しい新成人、と談笑する



エゾアワビの成育良好

殻長四・六八センチ

体重百七十グラム

(平均)

種育苗成記録

昭和四十五年五月十日、北海道奥尻島産エゾアワビ種苗千五百個から二百一個体を無作為に抽出しステンレス割ピン式標識九十七個体、ステンレス針金ビニール被覆標識五十個体、無標識五十四個体の三グループに分け、昭和四十七年六月十三日までの二十五ヵ月間放養し、種苗の成長を調査した。放養期間中は、カジメを一回十五〜三十キログラムを十日から三十日間隔で投与しながら適期観察を行なってきた。

体重二年で五倍にも

(1) 成長

放流時に個体別の殻長および体重が記録されている、ステンレス割ピン式標識を取り付けた九十七個体のうち、今回確認できたものは三十二個体であり、これらのなかで、最も成長量の大きいもので、放流時殻長五・五センチ、体重五十八グラム、十一・九センチ、二百九十グラムと殻長で六、四センチ、体重にして二百三十グラムの成長を示している。これら三十二個体

の放流時平均殻長は、六、三九センチ、平均体重は五十八・二グラムであり、取り上げ時平均殻長および平均体重は十一・一センチ、二百三十二・五グラムで、その平均成長量は、殻長で四・六八センチ、体重で百七十四・三グラムであった。二年間の放養期間の個体の成長は、表1、2に示したとおりである。

チの伸長を示し、平均体重五十二グラムが百四十七・三グラムとなり、九十五・三グラムの増量を示しているが、二年目の殻長の平均伸長量はわずかに一・三センチで、体重の平均増量も六十一グラムとその成長量は一年目に比べいちじるしく低くなっている。そして成長にばらつきが見られるようだ。

放流後二十五ヵ月間の成長は、三十二個体すべて十センチ以上で成長しているものの、本県海面漁業調整規則に定められている十二センチ以上のものはわずかに二個体であった。



貝の成長を比較する露崎組合長



漁協青年グループによるエゾアワビ育成の発表
(発表者 式田賢太郎さん)

歩留り62%

放養期間中適時イケスの観察を行ない、へい死した殻を取り出しへい死の確認に努めました。放養二百一個体中、取り上げ数は百二十六個体で、これは六十二パーセントの歩留りにあたる。これまでに確認できた、へい死個体数は二十個体であるが、これらはそのほとんどが放養後一年以内の調査時に発見されたものであり、死殻には成長の形跡がほとんど見られなかった。約六カ月ごとの潜水調査時に個体測定のため採捕したもので、採捕時創傷した貝はいちおう見本として取りあげ、無傷の貝のみを再放養したが、これら測定時にその生存を確認したのうち十五個はいずれも個体別の殻長および体重が記録されていたものである。

五十五個体が不明になった原因として、四十六年十一月九日〜四十七年二月二十日までの百三日間導水口の格子型水門が欠壊していたための逸散が考えられるほか、へい死後の殻が大しけの波浪により流失した、ということも併せて考えられる。

表3 標識別取り上げ表

標識種類	放養個数	取り上げ個	へい死確認個	備考
ステンレスボタン式	97	32	5	不明個体 60
ステン針金ビニール被覆	50	18	2	" 30
無し	54	76	13	増加個体 35
計	201	126	20	差引不明個体 55

表3中無標識の種苗については放養五十四個体中へい死が十三個体もあるにもかかわらず、取り上げ個体数が七十六と取り上げ時の数が放流時よりも多いという矛盾

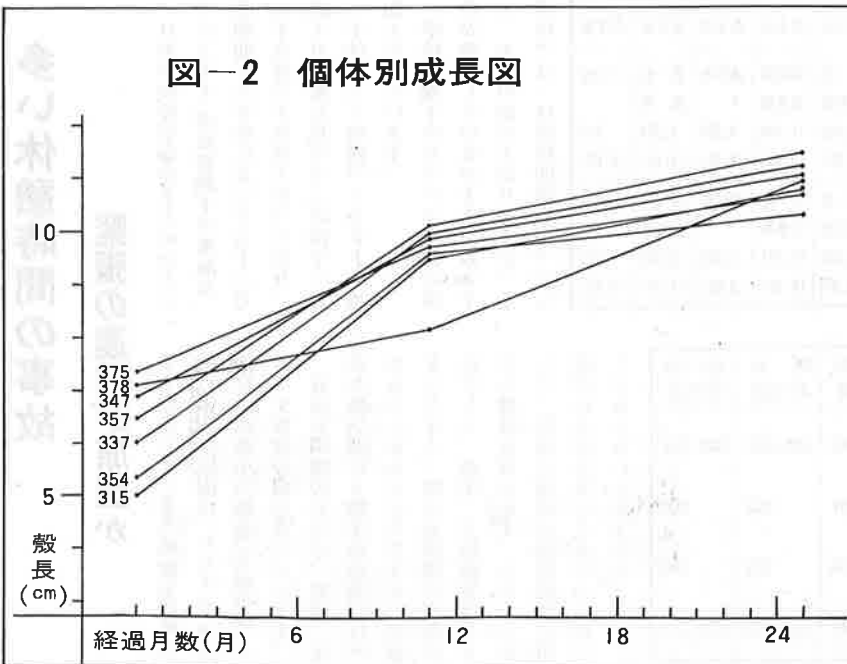
表1 個体別成長表

標識番号	45.5.10 (A)		46.4.5 (B)		47.6.13 (C)		(B) - (A)		(C) - (B)	
	殻長	体重	殻長	体重	殻長	体重	殻長	体重	殻長	体重
Y 315	5.0	51	9.4	156	10.6	206	4.4	105	1.2	50
337	6.0	52	9.9	154	11.1	235	3.9	102	1.2	81
347	6.9	46	9.8	157	10.9	212	2.9	111	1.1	55
354	5.3	53	9.5	135	10.2	178	4.2	82	0.7	43
357	6.5	48	10.0	148	11.3	244	4.5	100	1.3	96
375	7.3	58	9.6	145	10.5	190	2.3	87	0.9	45
378	7.1	55	8.1	136	10.8	195	1.0	81	2.7	60
平均	6.3	51.8	9.47	147.3	10.7	208.5	3.3	95.4	1.3	61.4

が生じているが、これは放養期間中になんらかの原因により標識がはく離したものと思える。

ステンレス割ピン式標識とステン針金ビニール被覆標識の取り付けについては図のとおりであるが、この二種の標識を取り付けたものの採捕率は、前者が三十

図-2 個体別成長図



二パーセント、後者が三十七パーセントとほとんど変らなかつた。限られた範囲の中でしか移動できないものだから図のように取り付けた標識がはかれるので、私たちが放流時に苦心して取りつけた標識付のアワビがなかなか採捕されないわけが解るような気がした

老人福祉動きだす

敬老電話や老人医料無料化

●新年度予算新しい事業●

新年度予算の骨格もきまり、議会の承認をへて動きだそうとしています。

ことしは、国においても福祉優先がさげられ、超大型予算がくまれました。当町の予算も福祉にかなりのウェイトがおかれています。が、目新しい「目玉商品」をチェックし、住民生活に与える影響をしらべてみることにしました。

まず予算規模は、昨年度と比べて二十・九五%の伸び率、額にして一億一千二十九万八千円の増加となっています。

ことしの目新しい事業は、建設事業では、小学校プールの新設、火葬場改築、打越線林道開設。

民生関係では、青少年グループ育成、敬老電話架設、老人医療費の町負担などがおもなものです。これをみてもおわかりいただけますが、福祉関係費——とりわけ老人

福祉関係費の事業が目につきま

す。事業内容や予算の額についてみてみると、老人医療の無料化（七十歳以上）による医療費の町負担を一千七百三十六万六千円計上しましたが、対象老人は、初年度で約七百名おり、全人口に対する割合は八・二パーセント、世帯数ではおよそ三世帯に一人該当者がいることになっています。また、一人あたりの予算額は、二万四千八百円となっており、かなりの優遇となっています。

敬老電話は、町の有線電話を無料で架設しようというもので、単独世帯のおとしよりには、よいおくり物となります。この予算額は十三万円で

す。町少年剣道クラブが結成されましたが、そのクラブへ町・県から五万円ずつ補助されます。

さらに母子保健推進員を数十名委しよくし、じょうぶなお子さんを生み、健やかに育てる運動をくりひろげます。

乳幼児保育の体制も整いますし保育時間を午後五時まで延長（希望者に）しますでお申しこみください。

児童手当もいままでは、五歳未満までとなっていました。四月一日からは十歳未満に年齢を引きあげましたので、かなりの恩典があると思います。

このほか建設関係では、学校プールを設置し、児童の体位向上が望めます。事業費は、千二百三十万円で

す。火葬場改築は、重油バーナー体用を新設します。

林道打越線は、五百十一万五千円で開設されます。以上がおもな新規事業ですが、このほかにも布施小の改築、一般町道の改良舗装二千万円、農道舗装や整備六百万円、農道舗装や整備六百万円。

社会教育の充実や観光施設の整備も引き続き行なわれ、これらの事業は、いずれも直接住民福祉の向上に結びついていますので、予算の執行には十分気を配って見守ってほしいものです。

多い休憩時間の事故

緊張の連続が原因か

日本学校安全会がまとめたところによると、学校管理下の事故は、昭和四十六年度において七十二万六千九百三十五件となっており、四十五年度に比べて二万四千二百二十件、三・四四パーセントの増加となっています。

学校管理下のどういう場合に事故が発生しているかをみてみますと、あとの表のとおりですが、小学校では、休憩時間等がもっとも

	総計	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位
小学校	232,979 (100)	休憩時間等 134,981 (57.94)	各教科 57,263 (24.58)	学校行事等 16,500 (7.08)	特別教育活動 11,949 (5.13)	通学中 9,566 (4.10)	課外指導 2,554 (1.10)	その他 166 (0.07)
中学校	189,459 (100)	特別教育活動 63,088 (33.30)	各教科 51,907 (27.40)	休憩時間等 48,833 (25.77)	学校行事等 15,991 (8.44)	通学中 5,756 (3.04)	課外指導 3,694 (1.95)	その他 190 (0.10)

多く発生しています。児童生徒等の死亡事故の原因は、いたずら、その他自由活動中の事故、交通事故、スポーツ体育の順となっています。安全な環境のもとで、児童、生徒が伸び伸びと勉学や運動にはげることがなによりですが、学校をとりまく、種々な環境の変化がはげしく、通学、下校時等はことさら神経を使います。このようにして、緊張の連続が休憩時間に事故がいちばん多いことにつながっているともいえそうです。

区分	昭和			
	40年度	44年度	45年度	46年度
義務教育	417,518	503,048	525,537	549,771
負傷・疾病	247	201	243	260
死亡	167	135	126	146
合計	417,932	503,382	525,906	550,177

国鉄総裁賞受賞作品

美しい海の御宿

御宿小六年 尾上美智代



あい、お手つだいをしました。こんなみんなの心に守られた御宿の海の四季はとてすばらしいです。

春の海は、やさしく話しかけるように小さな波がいくつもいくつも波うちぎわにきます。そんな時の海はお母さんのようです。

十万人近くの海水客を一気にのみこんだ夏の海は、色とりどりのビーチ・パラソルや水着でうずめられ、ダリアの花のようにはなやかです。

でも私は広々とした砂浜も海もまっかに染める秋の夕焼けがずっとずっと好きです。小さな美しいさくら貝もこんな時にみつけれられます。

冬になると重く大きな波がおこつてもいるように波うちぎわに飛びこんできます。

私の町御宿は、山と海にかこまれたすばらしい町です。特に海は天気の良い日になると、ダイヤモンドをちりばめたように、とても美しく光ります。あの有名な月の砂漠の歌を生んだ砂浜は広々と続き、静かな日は風紋が波のように美しい芸術を作っています。むかしは、月見草がさきみだれ、海も青々とかがやき、なおいつそうす

ばらしかつたそうです。でもいま、町の人々がみんなまで協力して、なんとかこの美しさをだいに守つていこうと努力しています。海岸道路は砂丘をさけ、松林をうまく生かして作りました。川岸のゴミもとり除き、砂浜のそ

うじに力を合わせ、月見草や浜昼顔の草花もたいせつに保護しています。私たちが子ども会で相談し

●働らく人

鉄に魂を打ち

込んで70年

井上璋道さん(83歳)



「井上さんの名前を教えてください。」

「おい、書いてやれよ」とせがれさんにいった。板に書かれた字をみて、書いてやれといった、じいさんの言葉がわかった。璋道——たまじとかながふつてある。むづかしい字だ。

鉄を打つて七十年——。十三歳から八十三歳のきょうまで槌をふりつづけてきた。

「何年やってもこれでいいという物ができない。」と首をかしげる。出来上つた物は、使う人が評価をするのだ。自らは満足できなくとも、あのじいさんの作つた物を使うとほかのは使えないという人が多い。これでいいのではないか。

自分の子どもには、自分の知識

と技をなんでも教えてあげたいだろう。しかし、七十年この道に打込んだ魂だけは教えるわけにはいかない。長い間の経験とカンによって培かれた技術から生まれる製品のの一つ一つに魂が打ちこまれている。

井上さんは六人兄弟の一人として育つたが、いまだに三人の兄弟が健在という長寿一家だ。

働らくことが道楽という井上さん。遊んでいる方がからだが疲れるといつて、ふいごに手をかける。いリズムでふいごが動く。

トッテツカン、トッテツカンと調子のよい槌音とともにまっかな鉄から、いせいのいい火花がとびかう。鉄が生きもののように形を変えていく。じいさんの目がするどさをまわす。

田中岩雄氏(組合長)を再選

民宿組合新役員きまる

二月六日、須賀区民館で開かれた、民宿組合の総会において、つぎのとおり新役員が選出されました。

組合長 田中岩雄氏
副組合長 加藤幸太郎氏
" 井上弥太郎氏
監事 齊藤鶴雄氏
" 石井 実氏

表彰

△観光作文「美しい海の御宿」
日本国有鉄道総裁賞
御宿小学校六年 尾上美智代

△友情作文「すばらしい明子さん」
千葉県知事賞
御宿小学校六年 伊藤裕子

△計量に関する作文「みそしるがわかめにつけに」
千葉県知事賞
御宿小学校六年 野田千鶴代



おめでた

十月 男4 女5 計9
区 出生児 性別 保護者

須賀	島田 保	男	耕作
"	露崎直子	女	武晴
久保	佐藤功佳	女	勉
新町	金森喜美	女	侶治
"	岩瀬直子	女	正一
六軒町	鶴岡康利	男	衛
岩和田	木原祥晶	男	功

岩和田 江澤 静 女 政雄
七本 吉田和幸 男 征夫
十一月 男8 女3 計11

区 出生児 性別 保護者

浜	米本昭久	男	正行
"	君塚 太	男	孝
"	渡邊敏江	女	忠
久保	中村成宏	男	厚志
新町	鈴木香織	女	雄三
"	佐久間真紀	女	正洋
岩和田	松田公一	男	公男
"	橋岡正己	男	時夫
"	貝塚 淳	男	徳治
"	高梨 強	男	文男
"	幸保有祐	男	恒男
十二月	男9 女7	計16	
須賀	高松知幸	男	茂幸
浜	青田之資	男	勉
"	津守浩幸	男	新一
久保	岩瀬泰代	女	俊治
久保	岩瀬拓弥	男	輝佳
"	井上尚子	女	誠
新町	小田島文栄	女	明男
"	後藤昌紀	男	正敏
"	麻生有紀	女	仲秋
六軒町	新井康太	男	和嘉男
岩和田	善野 豪	男	富司男
"	北奥広子	女	武
"	渡邊良美	女	八郎
"	木原広乃	女	陽一
実谷	渡邊康弘	男	和雄

上布施 吉野泰洋 男 操

おくやみ

十月 男7 女3 計10
区 死亡者 年令 死亡日

須賀	神定はる	83	10月16日
"	鶴岡 武	67	10月21日
浜	伊藤清治郎	74	10月18日
岩和田	貝塚政雄	69	10月3日
"	市川 佐一	40	10月2日
"	木原七五郎	78	10月27日
実谷	君塚縫子	57	10月1日
"	氏原種三郎	85	10月2日
"	上布施 佐藤 進	45	10月4日
"	佐藤みさ江	49	10月20日
十一月	男5 女1	計6	
久保	岩瀬 建司	59	11月13日
六軒町	氏原定雄	69	11月10日
"	井上房吉	65	11月30日
岩和田	江澤いち	83	11月3日
"	柴田磐雄	74	11月9日
"	高田義雄	53	11月17日
十二月	男4 女4	計8	
須賀	長谷川勝吉	64	11月28日
"	神定いち	84	12月18日
浜	高梨 操	59	12月12日
"	入江トセ	58	12月30日
久保	白井きん	87	12月12日
六軒町	鈴木米吉	88	12月28日
岩和田	貝塚武雄	29	12月20日
"	嶋村いち	97	12月25日

マイベビー



霧崎直子 ちゃん
(6カ月)

生まれたときは、二千六百グラム。いまはよくふとって健康そのもの。

直子ちゃんが生まれる前日までだれも名前を考えてなかったという。名付け役のおとうさんが勤めの帰りに友だちから直子さんがどうだろうと相談をかけられ、素直な気持ちで提案を受け入れたという。

父 武 晴さん
母 志津代さん

人口

(1月末現在) 前月比

男	3, 923	2
女	4, 577	△2
計	8, 500	0
世帯数	2, 168	△1

発行所 千葉県御宿町役場

発行責任者 岩井敏夫

編集者 加藤長